

5月のはなし



いよいよゴールデンウィークの5月です。そして、5月5日は「子どもの日」です。「子どもの日」は国民の祝日で5月5日と法律で定められています。(1948年制定)趣旨は「子どもの人格を重んじ子どもの幸福を図るとともに母に感謝する」こととされています。

幼稚園ではこいのぼりを作ったり、空に泳ぐこいのぼりを見たり、ちまきを食ったりしてお祝いします。ご家庭でもしょうぶ湯に入ったり、お祝い膳を囲んだりされることと思います。「子どもは宝物」という言葉もあります。社会全体で育てていくことが大切だと思います。その社会の一つが「幼稚園」であると思っています。子どもたちをご家庭の皆様とともに育てていくにはコミュニケーションが大切だと思います。ご家庭で伝えたいことがある場合は担任でも主任でもお伝えください。また、園でも何かあるときにはお子さまの様子をお知らせします。

そして、今年度からクラスの子どもたちの生活をれんらくアプリでお知らせしていきます。様子がわかる写真もお付けしますが、必ずしも全員が写っているわけではありませんのでご了承ください。

<5月のおすすめ絵本>

『かみさまからのおくりもの』

生まれた時に神様は一人一人に贈り物を届けてくれるお話です。

その贈り物は一人一人違います。

『あおくときいろちゃん』

あおくときいろちゃんが好きすぎてきみどり色になるお話です。

色や形だけで表現された絵本です。

『ぼくがラーメンを食べているときに』

ぼくがラーメンを食べているときに世界中の子どもたちは何をしているのでしょうか。考えさせられる絵本です。

星の城幼稚園園長 宇佐美すみれ